岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名	その他水系　大盤川支川　災害関連緊急砂防事業に伴う地質調査業務委託（大盤川支川）電子納品用
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BV-3	調査位置	広島県呉市広長浜地内	北　緯	34° 12′ 56.2833″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成31年 3月 1日～平成31年 3月 2日	東　経	132° 37′ 10.0746″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	43.05m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-0	
総掘進長	7.00m		エンジン	ヤンマーディゼルNFD13-EK	ポンプ　東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1	41.60	1.45	SF	砂質土	暗茶							0[0](100)	崩積土。 細砂～中砂が主体だが、最大でΦ３０mm程度の花崗岩の礫が混じる。 植物片を含む。											750	90／ケーシング	S／MC	0.0	0	0.0	W1／0	0
2			Gr	風化花崗岩	茶褐灰	w4	h1	E	VI	d	D	0[0](100)	強風化した粗粒花崗岩。 GL-1.45～3.80m間のコアは砂状を呈す。 花崗岩組織は肉眼で明瞭に確認できる。 GL-1.95、2.90m付近で変質が見れる。 GL-3.80m以深のコアは岩片～短柱状を呈す。 ハンマーの軽打で崩れる程度の硬さである。 GL-4.30～4.50m間に亀裂が高角度で分布する。			10	1.15 1.45	10 300					300									
3	39.25	3.80										0[0](100)				32	2.15 2.45	32 300					240			10.0	60			
4												0[0](100)				32	3.15 3.45	32 300					183			10.0	60	1.0	W3／15	15
5	37.95	5.10			茶褐	w3		D	IV	c	D	10[10](100)		3/2 4.60		50以上	4.05 4.21	50 160	160				183			10.0	180	1.0	W3／10	10
6	37.30	5.75	Gr	花崗岩	白青灰	w2		C	III II	b	CM CH	27[42](100) 31[62](100)	風化した粗粒花崗岩。 コアは主に短柱状～柱状だが、GL-5.50m付近は岩片状となる。 コアの表面は滑らかで、ハンマーによる軽打で濁音がし、割れる程度の硬さである。 GL-5.60、6.50m付近には高角度の亀裂が分布する。	3/4 5.55		50以上	5.00 5.14	50 140	140				3/1	113	66	HW／DI	10.0	180			
7	36.05	7.00														50以上	6.00	貫入	不能					71			10.0	180			
8																50以上	7.00	貫入	不能				3/2	106			20.0	180	1.0	W2／12	0
9																								118							
10																															
11																															
12																															